徳島新聞　令和8年11月13日（金）

ニュービジネス支援賞

大賞

ロボ手術の安全器具 開発



佐々木雄太郎講師
（徳島大学病院）

徳島大学病院泌尿器科の佐々木雄太郎講師（41）は、ロボット支援手術で血管を確保する操作を安全・円滑にする補助器具「ヴァスガイド」を開発した。高度な経験や助手との連携を不要にした世界初の試みという。

幅3ミリ、長さ2・6センチの湾曲したへら状で、止血用テープを結ぶ際に使う。体内に器具を通す直径12ミリの筒に引っかからないよう角度を工夫。両端に形の異なる二つの穴を空け、ロボットの強い力でもつかみやすくした。

2018年の保険適用で腎臓などのロボット手術が急増する中、止血用テープを結ぶ難しい操作での事故を防ぐため、22年2月に自らスケッチを描いて企業に提案した。

特許は徳島大が取得して企業とライセンス契約を締結。学会発表や医師の口コミだけで全国150以上の施設に広がった。海外展開も視野に入れる。佐々木講師は「一つの製品開発で終わらせず、得たノウハウを広げたい」と話した。（林啓二）

徳島新聞令和８年１１月１３日掲載
コピー、転載禁止